

復興研究会報告

No.34(令和3年度 第3号)

発行
岩手県立大槌高等学校

発行日：令和3年9月30日

キッズステーション班は、8月4日(水)に地域の方々の交流の場「ぽこあぽこ」に行き、地域の子供たちに風鈴作りを教えました。



この活動をして気づき、感じた事は、多人数の子供を相手にしながら、工作をしたりする事の難しさです。何か作業をするより、動いて遊びたい子供にとって、少し難しい作品になったかもしれませんが、一人一人に対して、丁寧に教えることができたと思います。それぞれの子が作り終えた後に笑顔が可愛らしく、最後まで作れてよかったです。

3年女子

私は、今回初めてぽこあぽこさんへ伺いました。私が想像したよりも子供達は元気で、とても驚きました。初めは、人見知りしてしまい上手に関わる事が出来ませんでした。一緒に風鈴作りを行っていくことで打ち解けました。とても楽しかったです。また、終わった後に「ありがとうございました。」と子供達に言われた事もとても嬉しかったです。地域の人と関わる事の大切さを、改めて学ぶことが出来ました。今後、またこのような活動がありましたら、積極的に行きたいなと思いました。とても貴重な体験をさせて頂きました。

3年女子



活動で難しかったことは、紙風鈴の作り方を教えながら子どもたちを見ることです。工作中に真剣にやる子と、違う所に行ってまた来る子の、2つに別れていて、自由な子が多数いたので大変でした。しかし、時間が経つにつれ、皆真剣に楽しそうに取り組んでくれてとても嬉しかったです。最後は、出来上がって笑顔で喜んでいました。

3年女子

「大槌こども学びの場」8/3, 4(火、水)

私は復興研究会の活動は定点観測しか行ったことがなかったのですが、初めてキッズステーションの活動に参加してメリハリがしっかりしていると感じました。勉強の時間はしっかり真面目に無駄話することなく取り組み、遊ぶ時間はみんなで仲良く遊び、あまり関わりが少ない子ともみんなうまく遊んでいてとても凄いなと思いました。次回も参加できたらと考えています。

2年女子



8月3日(火)は「OLAII」へ



地元の子どもたちと色々な遊びをして、楽しく過ごすことができたので良かったです。また、子供たちと遊んだりしたことによって学ぶことも多くありました。どうしたら子供たちに分かりやすく伝えることができるか考えたときに、子供たちと同じ視点になって考えることでより分かりやすく伝えることができるということを学ぶことができました。

1年女子

普段、小さな子供たちと遊んだりする機会があまりなかったため新鮮で楽しかったです。子供たちもとても元気でこちらまで元気がもらえたような気がしました。次またこのような機会があればもっと他の遊びや他の子供たちとも接してみたいです。とても有意義な活動でした。

1年男子